

様式第1号（第4条関係）


平成30年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成金交付申請書

平成30年4月19日

（あて先）

さいたま市長

所在地 さいたま市浦和区常盤 5-8-43-1001

団体名 特定非営利活動法  th さいたま

代表者氏名 菊地順子

下記により、平成30年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成金（一般助成事業・団体希望助成事業）の交付を受けたいので、さいたま市市民活動及び協働の推進助成金交付要綱第4条の規定により、関係書類を添えて申請します。

記

- 1 助成金交付申請額 金 603,562 円
- 2 事業計画書
- 3 事業収支予算書
- 4 団体概要
- 5 添付書類



平成 30 年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成金一般助成事業計画書

平成 30 年 4 月 19 日

団体名 特定非営利活動法人 Arts&Health さいたま

所在地 〒330-0061 さいたま市浦和区常盤 5-8-43-1001

代表者名 菊地順子

事業の名称	「高校生ファシリテーター」養成講座
実施期間	平成 30 年 4 月 13 日 ～ 平成 31 年 1 月 31 日
事業の概要	<p><事業の目的></p> <p>① さいたま市の市民力向上を目指す。 ② 行政と市民が力を合わせて、地域のさまざまな課題に対等な立場で言い合うことのできる仕組みづくりを目指す。 ③ さいたま市を担う若者を育成する。</p> <p><事業の内容></p> <p>さいたま市内の高校生を対象として、「日本でもっとも市民自治の進む」といわれる静岡県牧之原市の市民ファシリテーターを講師として迎え、先輩ファシリテーターの体験談を聞くことで高校生が身近に感じながら、実践的に「ファシリテーターとは何か」を学ぶ。</p> <p>また、牧之原市をはじめ各地の取組を支援する専門家をアドバイザーとして迎え、高校生が自分たちでワークショップを運営しながら、ファシリテーターとしてまちづくり会議を企画・運営できるように養成する。</p> <p><事業の効果></p> <p>高校生がファシリテーターとなり、会議を企画・運営することで、参加者が意見を言いやすくなり、建設的な話し合いを進めやすくなる効果が期待できる。</p> <p>若者が大人に理解され、地域に自分の役割を見出すことで、地域を理解し愛着を深め、将来、地域を担う人材や地域の課題解決に貢献できる人材を育成することができる。</p>
総事業費	806,202 円（助成金交付申請額 603,562 円）

1 現状における課題と事業の目的

<課題>

- ① まちづくりにおいて、市民による主体的な関わりがあまりみられない。
- ② 対話の場が少なく、参加する市民の顔ぶれが限られている。
- ③ 若者の参加が少ない。

<目的>

- ① 市民自身が、市民と市民、市民と行政の対話をプロデュースする仕組みを作ること、市民が主体的な関わりを持つようにし、さいたま市の市民力向上を目指す。
- ② 自由かつ対等に意見を言い合い、誰もが参加したいと思える対話の場をつくることで、多くの市民のアイデアや知恵を結集し、それを地域課題の解決に生かすことで社会貢献に資する。
- ③ 高校生が関わることで、老若男女の幅広い層に参加が広がり、まちづくりに関心をもつ市民を増やすとともに、さいたま市を担う若者を育成する。

2 事業の内容

上記の目的を達成するため、高校生を対象に、まちづくり会議のファシリテーターを養成する講座を開催する。

- ・実施時期：平成30年7月～平成31年1月（6回講座）
- ・実施予定場所：浦和コミュニティセンター15集会室 他
- ・参加予定者：さいたま市在住・在学の高校生、講師、市民ボランティア、さいたま市職員
- ・講師：専門アドバイザー1名
市民ファシリテーター2名・市民グラフィッカー2名（「日本でもっとも市民自治の進む」といわれ、高校生ファシリテーターの育成に取り組む静岡県牧之原市より派遣）
- ・講座：6回。ワークショップ形式で、1グループ6名としてグループを編成する。
第1・2回講座「ワークショップ体験講座」ファシリテーターの役割、グラフィック等
第3回講座「模擬ワークショップ」ファシリテーターをやってみよう！チャレンジ編
第4回講座「プログラム・デザイン会議」まちづくり会議をプロデュースしよう！
第5回講座「高校生ファシリテーターによるまちづくり会議」いよいよ本番！
第6回講座「意見交換会・振り返り」フォローアップ
※講座開始前に講座説明会・講座準備会議、講座終了後に報告書作成・全体のフォローアップを行う。

3 事業により期待できる効果

- ・会議ファシリテーターに興味を持つ市民が増え、市内各地でワークショップが開催されることで、多くの市民が市政に関心を持ち、対話しながら知恵を出し成果を創造することで市民力が向上する。市民活動も活発化し、市民協働の自治に発展する。
- ・若者に市民ファシリテーターとして活躍できる場を創造することで、地域を理解し愛着を深め、地域に誇りを持つ人材の育成を推進できる。
- ・社会的にリーダーシップをとれる人材育成のため、2020年からの教育改革で、主体的・対話的な深い学び（アクティブラーニング）が求められるようになる。このことを先取りして、この講座でファシリテーターとして学ぶことで、地域を担う人材や地域の課題解決に貢献できる人材を育成することができる。

4 この事業に関する、団体のこれまでの取り組みや特性

「特定非営利活動法人 Arts&Health さいたま」の前身である「さいたま ARTS21」はさいたまのまちを誰にでもやさしく健康で心豊かな人々の住むまちにすることを目的に平成 18 年に市民の方からの要望で「さいたま ARTS21」（浦和区市民活動ネットワーク連絡会登録団体）を設立し、「健康寿命を延ばすための場づくり」「体感できる癒しの場づくり」「心豊かな絆づくり」などの活動を公民館・コミュニティセンターなどの公共施設、アーティスト、市民の三者をつなぐ役割を担い、他の市民活動団体や行政との協働事業も行い、まちづくりに取り組んできた。

「さいたまARTS21」の活動の中で、介護相談、子育て相談等様々な相談を受けることが多くなり、対話を重ねることの大切さ、人と人をつなげるることの大切さを痛感し、地域課題解決を推進するため、特定非営利活動法人としてArts&Healthさいたまを設立した。

今までの活動で多くの会議やワークショップについて経験し、多くの人とのつながりもでき、「まちづくり」の基礎となる「対話による合意形成」の重要性を鑑み、次世代を担う高校生による市民力発揮の可能性を期待し、市民力を高めるための人材育成事業としてこの事業を企画した。

5 市との協働に期待すること

この事業は、かねてより市民との対話を重視し、市民活動団体や市民によるまちづくりに積極的に協働してきた「さいたま市市民局市民生活部市民協働推進課」と協働で事業に臨みたい。市の所管課に期待することは、市の把握する情報の提供、効果的な実施のための助言や意見交換、市の広報への掲載、公共施設への制作物の配置、会場の提供、事業運営への職員の従事、高校管轄所管への依頼、市内高校への参加者募集依頼、参加高校生への「高校生ファシリテーター養成講座修了書・ボランティア参加証」等の発行をお願いしたい。

なお、本事業を通じて養成された「高校生ファシリテーター」がさらに現場の経験を積み、活躍することが重要と考えていることから、本事業終了後に、市や区が実施するまちづくり会議等の企画・運営に「高校生ファシリテーター」をぜひ活用していただきたい。その他、「6.助成期間終了後の事業展開」に後述する通り、高校におけるカリキュラム化や大人向けの講座開催など、本事業終了後の展開につなげる部分での市との協働をお願いしたい。

6 助成期間終了後の事業展開

この事業を通じて養成された「高校生ファシリテーター」が、市や区が実施するまちづくり会議などでファシリテーターとして実際に活躍することで、まちづくりの会議が活性化するとともに、高校生ファシリテーターがさらに経験・実績を積み成長していくことを想定する。

また、この事業を継続させ、養成された「高校生ファシリテーター」が先輩ファシリテーターとなり、次の高校生を対象とした、「高校生ファシリテーター」養成講座を開催することで、継続的に「高校生ファシリテーター」が生まれる仕組みを作りたい。牧之原市では高校における総合学習のカリキュラムとして導入しており、こうした展開も展望したい。

さらに、本事業は、まちづくり会議の活性化を通じた市民力の向上までを目的としているため、高校生のみならず、大人向けの市民ファシリテーター養成講座の開催につなげることも考えたい（または、中学生・小学生に広げることも考えられる）。

7 事業のスケジュール

実施時期	実施内容
7月8日(日) 13:00~17:00	講座説明会・講座準備会議 場所：浦和コミュニティセンター13 集会室
【第1回講座】 7月29日(日) 13:30~16:30	「ワークショップ体験講座① ~会議ファシリテーターの役割とは？」 場所：浦和コミュニティセンター15 集会室
【第2回講座】 8月5日(日) 13:30~16:30	「ワークショップ体験講座② ~ワークショップのデザイン、グラフィック」 場所：浦和コミュニティセンター15 集会室
【第3回講座】 9月30日(日) 13:30~16:30	「模擬ワークショップ」ファシリテーターをやってみよう！チャレンジ編 まちづくり会議実践に向けた模擬ワークショップを開催。受講者を2グループ(A)と(B)に分けて、それぞれ役割分担をしてワークショップを運営する。最後に振り返りを実施する。 場所：浦和コミュニティセンター15 集会室
【第4回講座】 10月28日(日) 13:30~16:30	「プログラム・デザイン会議」まちづくり会議をプロデュースしよう！ これまでの実践を踏まえ、まちづくり会議の開催に向けたプロデュース会議を実施。プログラムの検討のほか、広報・集客などについても検討する。 場所：浦和コミュニティセンター15 集会室
【第5回講座】 11月11日(日) 13:30~16:30	「高校生ファシリテーターによるまちづくり会議」いよいよ本番！ 高校生ファシリテーターによるまちづくり会議の本番。一般の参加者も含めたオープンな会議として開催。最後に振り返りを行う。 場所：浦和コミュニティセンター15 集会室
【第6回講座】 12月16日(日) 13:30~16:30	「意見交換会・振り返り」 高校生とスタッフと市職員との意見交換をして、事業全体を振り返る。 場所：浦和コミュニティセンター15 集会室
平成31年 1月20日(日) 13:00~17:00	事業報告書作成、全体のフォローアップ 場所：さいたま市市民活動サポートセンター

8 事業の実施体制

氏名	団体における役職等	この事業における役割
菊地順子	代表理事	統括責任者
		現場責任者、記録
		現場アドバイザー
		連絡事務

※ 事業を実施する際に中心的な役割を担う人を10名以内で記入してください。

他団体との連携状況

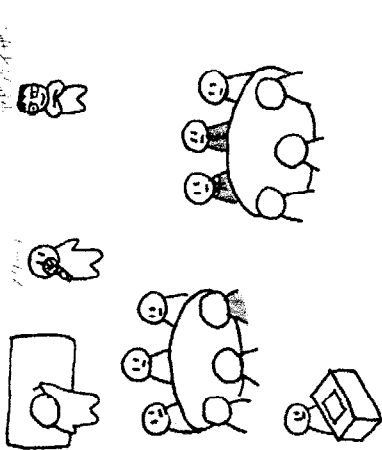
- ・講師の派遣については、静岡県牧之原市市民ファシリテーターに協力の確約を得ている。
- ・参加者の募集については、さいたま市内高校35校にポスター掲示のお願いをするとともに希望者にチラシ配布をお願いする予定である。

※ 企業・自治会・NPO・ボランティア団体等と連携して事業を実施する場合には、その協力関係を記入してください。

高校生7アシリタータ-養成講座の流れ

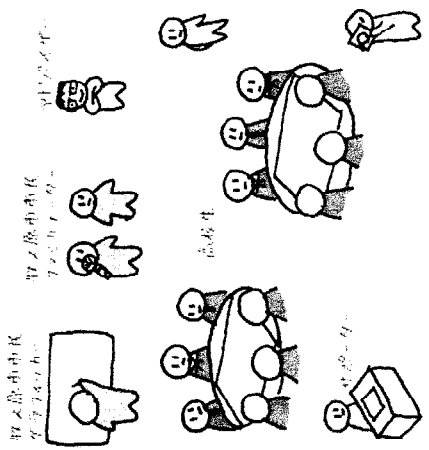
講座説明会
7/8

市民参加者・サポーターのための
講座説明会・講座準備会議



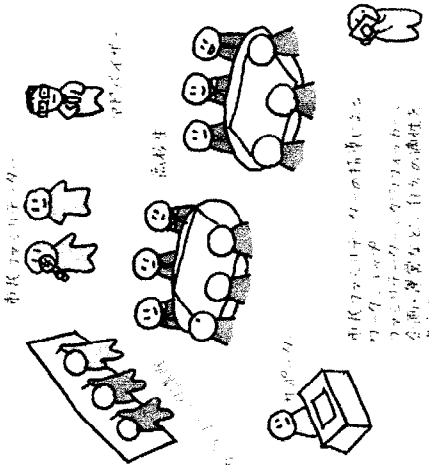
第1回7アシヨツ7
7/29

まちづくり会議の体験



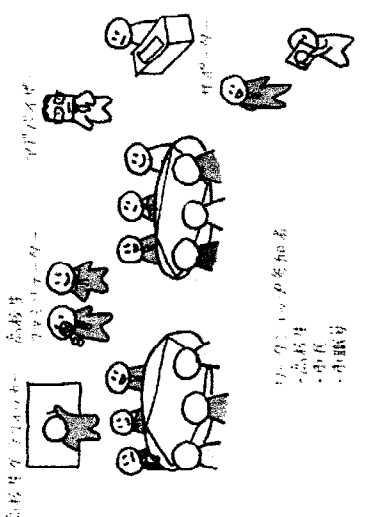
第2回7アシヨツ7
8/5

会議7アシリタータ-の役割を覚える
-サポーター7アシヨツ7講座



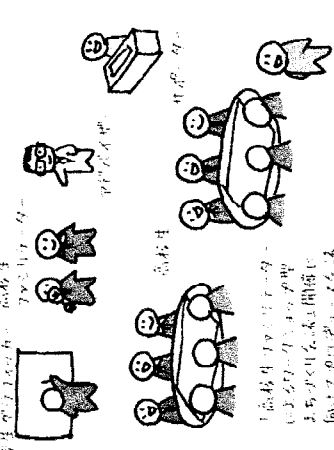
第3回7アシヨツ7
9/30

まちづくり会議手マシヨツ7編
高校生が7アシリタータ-として運営体験する



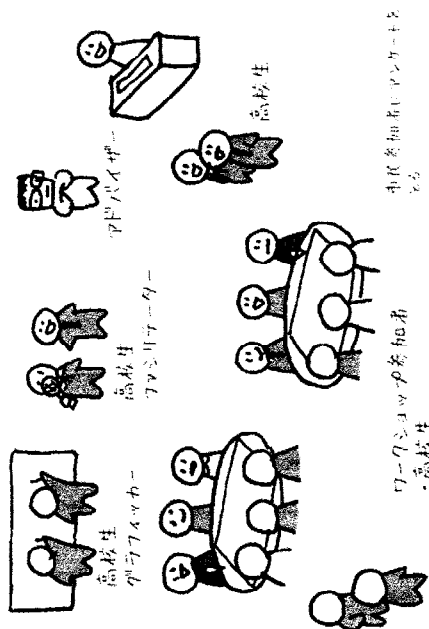
第4回7アシヨツ7
10/28

まちづくり会議全体を7アシヨツ7する



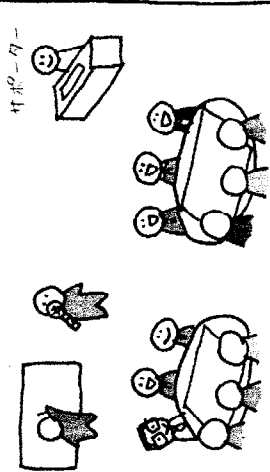
第5回7アシヨツ7
11/11

7アシリタータ-として会議を運営する
高校生7アシリタータ-による
7アシヨツ7サポーターまちづくり会議



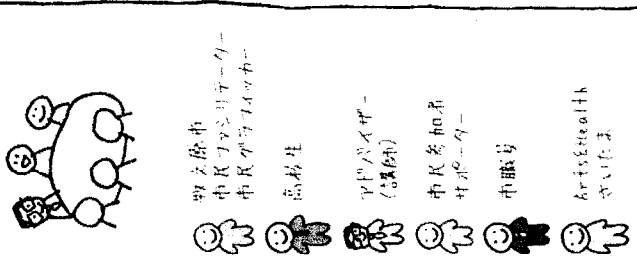
意見交換会
12/16

事業全体の振り返り



報告書作成
1/20

事業報告書作成
全体の7アシヨツ7



市民参加者・サポーター・高校生
7アシヨツ7サポーターまちづくり会議
事務局

事業収支予算書

<収入>

単位：円

区分		金額	内訳
自己資金	自己拠出金	202,640	会員の年会費、寄附金
	自己資金 (a)	202,640	
助成金交付申請額(b) (100万円以内)		603,562	
収入合計(c)=(a)+(b)		806,202	

<支出>

区分		金額	内訳
助成金 対象 経費	講師謝金	200,000	15,000円×1名×8回、10,000円×4名×2回
	印刷費	71,542	チラシ4000枚で7,591円(9営業日後届) ポスター40枚で16,513円(9営業日後届) 資料・報告書47,438円(サポセンで印刷)
	会場使用料	10,940	13集会室 1,240÷2(減免)×1=620円 プロジェクター560÷2=280円 マイク装置 100÷2=50円 15集会室 2,250÷2=1,125×6=6,750円 プロジェクター560÷2=280×6=1,680円 音響装置 520÷2×6=1,560円
	消耗品費	60,700	模造紙(300枚)9,000円、付箋(10テーブル)6,100円 マジック(クロッキー8色×10テーブル)13,000円 (黒100円×100本)10,000円 印刷用紙代9,600円、名札(100円×100名)10,000円 封筒、プッシュピン、養生テープ、ごみ袋 など3,000円
	郵送費	43,560	140×60名×2=16,800円(高校生へ予定表と報告書送付) 140×36部=5,040円(チラシと企画書を高校と牧之原市へ送付) 140×30名×2=8,400円(ボランティアへ予定表と報告書送付) 370×36部=13,320(結果報告書を高校と牧之原市へ送付)
	講師交通費	124,320	15,040×4名×2回=120,320(牧之原市～浦和往復) 500×1名×8回=4,000円
	市民交通費	92,500	500×23名×5回=57,500円 500×30名×2回=30,000円 500×10名×1回=5,000円
助成金充当経費(d)		603,562	

対象外経費	自己資金充当経費	助成対象経費のうち、助成金限度額を上回る部分 保険料	30,000	
		事業に付随して必要となる経費		
		高校生交通費	93,600	260円×60名×6回=93,600円
		事務局人件費	64,000	1000円×32時間×2名=64,000円
		静岡県牧之原研修交通費	15,040	浦和～静岡県牧之原市市役所×1名
		自己資金充当経費(e)	202,640	
		総事業費(f)=(d)+(e)	806,202	

※(a)=(e)、(b)=(d)、(c)=(f)となるように記入してください。

助成金限度額計算書

単位：円

区分	金額	内訳
自己資金(a)×3	607,920	
無報酬で事業に参加する市民の労力	事業の実施時期・内容	※人数×時間×500円×回数
	① 7月8日(日)	46,000 23人×4時間×500円
	② 7月29日(日)	46,000 23人×4時間×500円
	③ 8月5日(日)	46,000 23人×4時間×500円
	④ 9月30日(日)	46,000 23人×4時間×500円
	⑤ 10月28日(日)	46,000 23人×4時間×500円
	⑥ 11月11日(日)	46,000 23人×4時間×500円
	⑦ 12月16日(日)	46,000 23人×4時間×500円
	⑧ 1月20日(日)	20,000 10人×4時間×500円
労力換算額(g)	342,000	
助成金限度額(h) = (a)×3 + (g)	949,920	

助成金交付申請額(b) ≤ 助成金限度額

603,562 円 ≤ 949,920 円

団体概要

団体名	(ふりがな) とくていひえいりかつどうほうじんあーつあんどへるすさいたま 特定非営利活動法人 Arts&Health さいたま																										
代表者	(ふりがな) きくちじゅんこ 菊地順子																										
連絡 責任者	氏名	(ふりがな) [REDACTED]																									
	住所	〒 [REDACTED]																									
	電話・FAX	電話 [REDACTED]	FAX [REDACTED]																								
	E-mail	[REDACTED]																									
設立年月日	平成 30 年 1 月 30 日																										
団体の目的	この法人は、地域住民全てに対して、心も身体も健康で生きがいを感じ心豊かに暮らせるまちづくりに関する事業を行い、共に支え合うまちづくりの推進や文化向上、市民力向上の推進に寄与し、また行政や市民活動団体と連携し地域課題解決推進に寄与することを目的とする。																										
会員数	個人会員 11 名																										
さいたま市内における 主な活動内容	<p>さいたまのまちを誰にでもやさしく健康で心豊かな人々の住むまちにすることを目的に平成18年に市民の方からの要望で「さいたまARTS21」（浦和区市民活動ネットワーク連絡会登録団体）を設立し、「健康寿命を延ばすための場づくり」「体感できる癒しの場づくり」「心豊かな絆づくり」のための市民活動を継続してきました。「さいたまARTS21」の活動の中で、介護相談、子育て相談等様々な相談を受けることが多くなり、対話を重ねることの大切さ、人と人をつなげることの大切さを痛感し、地域課題解決を推進したい、ノーマライゼーション社会の実現にも寄与したいと活動についての思いが広がり、「さいたまARTS21」を母体として、特定非営利活動法人を設立いたしました。今後の特定非営利活動に係る事業として下記の事業を行う予定です。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 市民ふれあいの場企画開催事業 ② 市民力を高めるための人材育成事業 ③ ノーマライゼーション社会実現のための子育て支援事業 ④ 健康寿命を延ばすための健康維持増進事業 ⑤ 地域ふれあい促進事業 ⑥ 普及啓発事業 <p>この度は②市民力を高めるための人材育成事業として、「高校生ファシリテーター養成講座」を企画しました。</p>																										
団体の財政規模	<p>本年度予算（平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">＜収入の部＞</th> <th></th> <th style="text-align: center;">＜支出の部＞</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>会費収入</td> <td style="text-align: right;">50 千円</td> <td>事業費</td> <td style="text-align: right;">342 千円</td> </tr> <tr> <td>寄附収入</td> <td style="text-align: right;">10 千円</td> <td>管理運営費</td> <td style="text-align: right;">18 千円</td> </tr> <tr> <td>事業収入</td> <td style="text-align: right;">300 千円</td> <td>その他支出</td> <td style="text-align: right;">0 千円</td> </tr> <tr> <td>その他収入</td> <td style="text-align: right;">0 千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">360 千円</td> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">360 千円</td> </tr> </tbody> </table>				＜収入の部＞		＜支出の部＞	会費収入	50 千円	事業費	342 千円	寄附収入	10 千円	管理運営費	18 千円	事業収入	300 千円	その他支出	0 千円	その他収入	0 千円			計	360 千円	計	360 千円
	＜収入の部＞		＜支出の部＞																								
会費収入	50 千円	事業費	342 千円																								
寄附収入	10 千円	管理運営費	18 千円																								
事業収入	300 千円	その他支出	0 千円																								
その他収入	0 千円																										
計	360 千円	計	360 千円																								

	前年度決算（平成28年4月～平成29年3月）			
	<収入の部>		<支出の部>	
	会費収入	9千円	事業費	287,241円
	寄附収入	0千円	管理運営費	17,320円
	事業収入	263千円	その他支出	0千円
	その他収入	32,561円		
	計	304,561円	計	304,561円